

作物名; いちご	高設ベンチ栽培(岐阜県方式)
作業名; ポット*育苗苗/定植/運搬、定植	服装; 作業服、帽子、ビニール手袋

*ポット 塩化ビニール製の植木鉢、ポリポット

定植準備、運搬

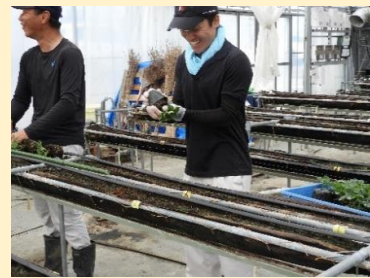


- ①作業を始める前に、ビニール手袋をはめ、その上からアルコール消毒をする
- ②育苗ハウスから苗をトレイに並べて本ほハウスへ運ぶ
- ③本ほハウス(いちご栽培をするハウス)の台の上に並べて置いておく
- ④1トレイずつ台車に乗せ、ベンチの通路に運んで行く

障がい者が作業する際の留意点

・苗をトレイに並べる時は、縦6ポット、横4ポット並べる

ポットを外す



- ⑤トレイから苗が植わったポットを1つ手に取り、ポットをはずす
- ⑥ポットを外した苗をベンチに並べる

障がい者が作業する際の留意点

・ポットを外した時、根が黒くなっている苗は使わない。
 ・苗は、根が乾く前に培土に植える。
 ・一区画(1m50cm)に苗を6株(株間25cm)並べていく
 ・地面に落ちた苗は使用しない、落とさないように注意する
 ・2人組。1人は苗を運び、ポットから苗を取り出しベンチに並べる。1人はベンチに並んだ苗を培土に植える。

苗を植える



- ⑦印しを付けたポールをベンチに置く
- ⑧目印の所に手で培土に穴をあける
- ⑨片手で苗を持ち、もう一方の手で穴を広げながら苗を差し込む

障がい者が作業する際の留意点

・苗は、ランナーを通路側と反対側になるように植える
 ・苗は、心持ち通路側に苗を傾け気味に植える
 ・株間は、25cm間隔で植え付ける
 ・25cmの目印を付けた棒を使用する

苗を固定させる



- ⑩周囲の培土を苗の根元に寄せ、ぐらつきがないように上から両手で培土をギュッと押さえて固定する
- ⑪一区画(一区画に6苗を植える) 植え終わったら、株元、ランナー切りした時のランナーの上にかん水チューブをのせる

障がい者が作業する際の留意点

・かん水チューブをランナーの上のせた時、上下に波打たないように注意する(かん水する時水が流れにくくなり、停滞することがある)

苗の入ったトレイの交換



- ⑫空になったトレイとポットを所定の場所に持って行き、それぞれの場所に重ねて置いておく
- ⑬苗の入った次のトレイを台車に載せベンチの所へ運ぶ

障がい者が作業する際の留意点

・苗の入ったトレイの近くに、空になったトレイとポットの回収場所を決めておく
 ・空のトレイは重ねていく
 ・ポットも重ねて所定のコンテナに入れていく